

現在、日本歯周病学会主導の研究として、SPT 期における歯周病患者の臨床症状とポケット内細菌叢の変化を調べるプロジェクトを行っています。その目的は、臨床症状が悪化したときには特徴的な細菌叢になっているのか？安定した状態のときはどうなのか？などの疑問を明らかにすることです。6ヶ月ごとに臨床データ、細菌データを取得し、2年間（24ヶ月）の研究期間を設定しています。

こういったデータをもとに、歯周病治療において細菌検査が重要であることを明らかにして、将来的な保険導入の基礎データになればという思いで17施設において研究を進めています。24ヶ月までのデータがそろいつつありますので2012年度中にその成果を発表できると考えております。